

和の光



宝塚市立西谷中学校

君は自分の「峠」をこえようとしているのか

筒井 啓介

もう、25年も前のことですが、私が中学3年生を担当したときに、クラスの生徒に「進路アンケート」をとり、勉強や進路選択など不安や疑問に思うことを答えてもらいました。その中で、ある女子生徒が書いたメッセージを紹介します。

「私は、はっきり言って頭が悪いです。理由は家に帰っても予習や復習を全くしないからです。もちろん、テスト前の勉強も全くしていません。「どうして?」と聞かれても答えることができません。「やらなきゃいけないのに!!」と思っても体が動きません。ただの言い訳ですけど事実です。悔しいです。自分のわがままに自分が負けているのです。悔しいです。」

この生徒以外にもクラスの生徒のメッセージを読んでいると、「やらなければいけないのにできない。」とか、「自分の弱さに負けている。」と言った言葉が多数書かれていました。分かってはいるけれど、一歩が踏み出せない状態にある人が多いことがよく分かりました。

ここで、詩人の真壁仁さんが書かれた「峠」という詩の一節を紹介します。

「峠に立つとき 過ぎ来し道はなつかしく ひらけ来る道は楽しい ひとはそので ひとつの世界にわかればならぬ」と書かれています。峠に立つことによって、自分がこれまでに歩んできた道を振り返ることができます。また、未来に向かって歩みだすことができると語られています。

登山をする時に「峠に立つ」ことは本当にしんどいことです。私も趣味の登山で長い道のりを歩くことがありますが、あの大きな岩まで、あの大きな樹の下まで、と心に言い聞かせながら歩いています。そうしながら、峠に立つと視界が開け、次はあの道を歩いてみよう。あの道の先にはまだ見たことがない世界が広がっていると、新たな目標が持てるようになります。

進路を考えていかねばならない中学生時代を機会に、目標をしっかりと立てて「峠」を登り続け、「峠」を乗り越えていくことは非常に大切なことです。しんどいからといって、「峠」を登らなければ、いつまでも甘えた自分があるだけです。自分の「峠」を登り切ったら、必ず爽快な気持ちになることでしょう。そして、自分を成長させてくれる新たな「峠」が見えてくるはずですよ。このように、人は多くの峠を乗り越えながら成長し生きていくのです。

今、君はどのような「峠」を持っているのか。

今、君は「峠」を登る姿が見えているのか。

今、君は「峠」を超えようとしているのか。

「峠」の向こうには君の道が必ず拓けます。希望と勇気を持って、第一歩を踏み出していこう。

■英語科研究授業(2年生)

2年生英語科の研究授業(担当 高橋教諭)を行いました。この授業では受動態について学習を行いました。当日は、市内の英語科教員が授業を参観しました。生徒たちも普段は見慣れないたくさんの参観者に少し緊張したようですが、英文を読んだり、パソコンを使いながら先生の発問に答えたり、活発に授業に臨んでいました。

急激な経済活動のグローバル化、地球的規模で発生する環境問題や平和問題など、これからの時代を生き抜く子どもたちには、世界の様々な国の人々との対話が必要になります。中学時代に、受験のためだけでなく、コミュニケーション力の一つとして英語をしっかりと身に付けて欲しいと願います。(1月31日)



タブレットで問題演習



質問に元気に回答

■オンラインによる模擬面接(3年生)

3年生がオンライン交流による進路学習を行いました。この交流は兵庫県立伊丹西高等学校のみなさんに協力いただき、今回で4回目の交流になります。今回は高校生に面接官役をお願いし、本校の生徒に模擬面接をしていただきました。あわせて、受験直前の学習ポイントや体調と生活リズムの管理、面接のポイント等についてアドバイスをいただきました。中学生と年齢の近い高校生からアドバイスや励ましの声をいただき、とても貴重な機会になりました。この交流で学んだことを受験に活かし、全員が希望の進路を切り拓くことを心から応援しています。協力いただいた伊丹西高等学校の皆さん、どうも有難うございました。

(1月24日)



2グループに分かれてオンライン面接



各自で高校生からの質問に回答

■仲間とともに学ぶことの楽しさ

3年生の家庭科の授業を紹介します。幼児が喜ぶ食べ物をつくろうということで、ベビー・カステラ(プレーンとさつま芋入りの2種類)を作りました。中に入れたさつま芋は学校と西谷の森公園で育てたさつま芋です。50分という限られた時間の調理ですが、班員で協力しながら手際よく調理し、最後に全員が試食しました。私も美味しく試食させていただきました。(1月31日)



続いて、2年生の保健体育の授業を紹介します。昨年に続いて、受け身等の基礎を確認しながら授業が進められていました。体育館の中は厳しい寒さですが、先生の指示に従いながら、みんなで真剣に取り組んでいました。ほとんどの生徒が柔道未経験者ですが、前向きに取り組む姿勢には感心しました。また、本校は生徒数が少ないため、今日は養護教諭も生徒役で参加してくれました。柔道を通して、技術・礼儀・日本文化を学ぶ機会になることを願っています。(1月15日)



■焼き芋&竹のワークショップを開催しました

西谷小学校のグラウンドで「焼き芋&竹の工作ワークショップ」を開催しました。西谷中学校の生徒が育てたさつま芋を使った焼き芋や、竹を使ってお湯を沸かす体験などをしました。この他にも大谷翔平選手から西谷小学校に寄贈されたグローブのお披露目式もありました。小学生・中学生の他にも地域の方も参加いただき、貴重な体験ができました。この会の開催にあたってお世話いただいた青少年育成市民会議・西谷小学校応援団の皆さまに心からお礼を申し上げます。(2月1日)



■スキー転地学習を実施しました

1年生がハチ高原スキー場にてスキー転地学習を実施しました。雪不足のため当初の予定から1週間延期したことも功を奏し、ゲレンデには十分な積雪と天候にも恵まれました。多くの生徒がスキーは初めての体験ですが、誰一人脱落することなく最後まで実習を受けることができました。2日目には林間コースや、リフトに乗って少し標高のある所からも滑ることができるようになりました。インストラクターの方から、生徒たちのやる気と技術の習得の速さを褒めていただきました。これからも、この転地学習で学んだことを大いに活かしてくれることを期待しています。(1月30日~31日)

